

# 2021 年度 事業報告

2021 年 4 月 1 日から

2022 年 3 月 3 1 日まで

学校法人 豊中キリスト教会学園

幼保連携型認定こども園豊中愛光幼稚園

## 1. 法人の概要

名称 学校法人 豊中キリスト教会学園（1989年4月1日法人設立）  
 代表者 理事長 倉光弘己  
 住所 豊中市末広町1丁目2番28号  
 電話 06-6853-9677  
 FAX 06-6853-9687

### 設置する学校

住所 豊中市末広町1丁目2番28号  
 名称 幼保連携型認定こども園 豊中愛光幼稚園

### 役員

理事 6名  
 監事 2名  
 評議員 13名  
 理事会 5回開催  
 評議員会 3回開催  
 職員 28名（常勤 17名 非常勤 11名）

## 2. 事業の概要

（認定こども園豊中愛光幼稚園）

### 《教育方針》

キリスト教精神に基づき、自由遊びを中心とした保育を進める。主体性と社会性、創造性と責任感を持った心身ともに調和のとれた子どもに成長するよう導く。

### 《教育内容》

遊び込みと異年齢保育による子どもたちのつながりの中から、自由に育ち、自由な発想と自ら考えて決める喜び、そして協調性を楽しむ心、神を愛し、人を愛し、自分を愛する子どもに育つように、安全できめ細かい保育と環境作りを行う。

	0歳児		1歳児		2歳児		クラス数計	園児数計
	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数		
利用定員	1	3	1	10	1	10	3	23
2019年度	1	3	1	10	1	12	3	25
2020年度	1	3	1	10	1	11	3	24
2021年度	1	3	1	10	1	11	3	24
	3歳児		4歳児		5歳児		クラス数計	園児数計
	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数		
利用定員	1	25	1	30	1	30	3	85
2019年度	1	25	1	26	1	25	3	76
2020年度	1	27	1	22	1	26	3	75
2021年度	1	24	1	26	1	22	3	72

《職員構成》

園長 1名  
副園長 1名  
主幹保育教諭 2名  
保育教諭  
チャプレン 1名、キリスト教教育主事 1名、キンダーカウンセラー 1名  
看護師 1名、事務長 1名、事務員 2名  
栄養士 1名、調理師 3名、体育講師 1名

《保育時間及び延長保育》

教育標準時間

1号認定こども

保育時間 午前9時～午後2時 月曜日～金曜日 土・日曜日休園日

延長保育 午前8時～午前9時、午後2時～午後6時

2号認定こども・3号認定こども

標準保育時間 午前7時～午後6時 月曜日～土曜日

延長保育 午後6時～午後7時

短時間保育 午前9時から午後5時

延長保育 午前7時～午前9時、午後5時～午後7時 月曜日～土曜日

《納付金》

保育料 市町村の納税額に応じて。豊中市等市町村が定めた額。

特定保育料 3歳以上クラスの入園者は、月額2,000円（10ヶ月）を施設設備充実費として納入する。

《入園時の費用》

事務手数料 5,000円

《預り保育の内容及び費用》

月～金曜日 午後2時～午後6時、2時間300円。

夏冬春休み中の預かりも実施。

《行事予定》

春（4月） 入園式、進級式、春の日礼拝、花の日、春の遠足

夏 水あそび、夏期保育、デイキャンプ

秋 秋の遠足、かがやけひかりのこどもたち!!(運動会)、秋の実り礼拝

冬 クリスマス礼拝と祝会、お餅つき、芸術鑑賞会、お店屋さんごっこ

春（3月）春の訪れを喜ぶとき(ひなまつり)、お別れ会、修了式、卒園式

毎月 誕生会

毎週月曜日 特別礼拝日

## 《施設関係》

敷地面積	763.90㎡	運動場面積	402.95㎡
園舎面積	539.89㎡	構 造	RC 構造
耐震工事	2014年3月に工事完了		

## 《設備関係》

防犯で求められる設備の整備、災害時を想定した備品類の整備

## 《事業報告》

コロナ禍での生活が続き、感染拡大防止を考え休園しなければならない期間が1年のうちに何度かあった。どんな時にも『こどもたちを真ん中に！』を心にとめながら、教職員はチーム力向上を図り、保護者の理解と協力をしていただいた。当園は隣接の豊中教会から始まった園であり、その支えも大きかった。こどもたちの笑顔を絶やすことなく過ごせたことに感謝の一年であった。

事業計画としては、以下の5項目とした。

1. 教育・保育の質の向上
2. 教育・保育環境の改善
3. 働きやすい職場環境の整備
4. 計画性を持った子育て支援の実現
5. 関係者評価の実施

### 1. 教育・保育の質の向上

行事優先の園生活ではなく、日々の経験の積み重ねが一人ひとりのこどもたちと集団の育ちにつながることを意識し、教育・保育活動に取り組んだ年であった。チームで客観的な視点を持ってこどもの観察を行うように努め、教育・保育の見直しや異年齢保育の充実を図った。その中で保護者への園の方針理解と共有が質の向上のために必須であることが再確認できた。

また、園内研修を通じて、各保育教諭が自園の理念を語れる状況に近づけるように努めた。今後は、尊敬し合う関係性構築の中での『チーム力アップ』についての学びと、毎週月曜日に行っている特別礼拝時のお話を各保育教諭が持ち回りで担当しキリスト教保育について各自が考え、学び、対話することでさらなる教育・保育の質の向上を目指していきたい。

### 2. 教育・保育環境の改善

ソフト面では書棚の購入、おもちゃ購入と修繕を行った。ハード面では、予定していなかった安全上必要な工事が入った。漏水防止のための外壁工事、2回保育室洗面台の取り替えと階段場の工事、園庭の大型遊具(ログハウスとシャトレー)

修繕と塗装、ジャングルジムの塗装を実施することになった。

デジタル化の推進として、個人情報管理のためのサーバー整備とネットワーク管理、リモート会議のための環境整備を行った。また、コロナ感染拡大防止のための備品購入も行った。

### 3. 働きやすい職場環境の整備

コロナ禍による学生の就職状況の変化が見られ、就職フェアに参加したが採用につながることは、予想以上に困難だった。ホームページの定期的な内容更新は行えたものの積極的活用に至らなかった。就職難になっていく中で、学生の動向を検証していく必要があることや継続して働ける楽しい職場環境の整備を丁寧に進めることが大切で、お互いが尊敬し合えるチーム力向上を進めていきたい。

ICT導入は行ったが、業者選定を急いだため園の内容実態と合っていない点もあり、今後活用していく中でさらに実態に合ったものを追求したい。

### 4. 計画性を持った子育て支援の実現

園庭開放『ひよこ』、キンダーカウンセラー、子育て相談、2歳児親子教室『うさぎ』などの事業を計画したが、コロナ禍で制限されることも多かった。キンダーカウンセラーの必要性は保護者から求められるものであった。引き続き事業を計画していく必要がある。

また、P.T.A.活動も制限されたがP.T.A.の役割の大きさを実感する年でもあった。今後も連携して園で子育ての面白さを共有し、こどもたちの笑顔を未来へつなげたい。

### 5. 関係者評価の実施

コロナ情勢により豊中こども財団（豊中市私立幼稚園連合会）の公開保育を実施することはできなかったため、次年度の計画に入れていく。

以 上